

学園だより②

～生野小学校・生野幼稚園・栃原幼稚園～

美しい生野の春。山々の緑、色とりどりに花が咲き、小鳥たちのさえずりを聞きながら、子どもたちは登校してきます。

このすばらしい環境のもと、「ふるさとに学ぶ」をテーマに体験的な活動をとおして、子どもたちの興味関心を引き出し、もっと学びたいと感じて意欲的に学習に取り組もうとする態度を育てています。

ふるさとに学ぶ

生きる力を培う 生野小学校

「成徳の旗ひるがえる

あしたみどりの山川に…」

校歌の冒頭にも歌い継いでいる校訓「成徳」を指標に、知、徳、体にバランスのとれた児童を育成します。

昭和四年、時の京都大学総長荒木寅

三郎博士からいただいた「成徳（徳器を成就せん）」の言葉を、今、子どもたちは次のように語り継いでいます。

「成徳」

一人一人には

その人のすばらしさが必ず具わっている。

それを磨こう。

それを育てていこう。

そして、

この世でたった一人の自分を創っていこう。

学校統合して

平成十七年四月に、生野小学校と栃原小学校が統合して、朝来市立生野小学校が誕生しました。二年目の本年度は、心の教育の充実を目標に、学校あげて取り組んでいます。

あいさつの響く学校

あいさつ運動を頑張っています

歌声がこだまする学校

本校OBで兵庫稲美少年少女合唱団の椿野伸仁先生も絶賛の美しい歌声を受け継いでいます

ボランティア活動のできる子

福祉施設との交流会、ユニセフ募金活動、清掃活動を充実させています

子どもたちも児童会を中心に、「笑顔いっぱい、日本一の生野小学校を創る」と張り切っています。



あいさつ運動

生野は三歳からの幼稚園

自立に向かいはじめる三歳から、集団生活の中で、一人ひとりのよさや、可能性を伸ばしていきます。

元気いっぱい

笑顔いっぱい 栃原幼稚園

栃原の里に、子どもたちの歓声が響いています。

本年度は、入園児が二名で、全園児数が十名の幼稚園です。

和太鼓や一輪車に挑戦します。

みんな輝き

楽しい生野幼稚園

本年度の入園児は、三歳二十三名、四歳三名、五歳一名で、園児数は七十五名になりました。

やさしく思いやりのある子に育つよう、隣にある小学校とも協力し、あいさつや礼儀などが自然にできる心を育てます。



栃の実太鼓（栃原幼稚園）

オンラインワンズクール事業の成功に向けて

本年度は、「ふるさとを愛し未来を生きぬく生野っ子の育成」をテーマに掲げ、確かな学力の定着と心の教育の充実を中心に課題に取り組みます。

保護者は、教師を信頼する。教師は、その信頼を裏切らないよう努力する。この信頼関係を何よりも大切にしながら、地域に開かれた学校園づくりに努めます。

但馬小学校 道徳教育研究大会

生野小学校は、平成十八年十一月二日（木）に、道徳教育について、但馬の研究発表を行います。

「国際社会に生きる心豊かな子の育成」をテーマに、授業公開を行い、道徳講演会も計画しています。

講師に、前京都教育大学副学長（現京都市教育センター顧問）小寺正一先生を迎え、地域の皆様方にも、道徳教育について関心を持っていただけるようオープンスクールとして計画しています。